

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本部：〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8号 機械振興会館内
TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒660-0891 兵庫県尼崎市扶桑町1番10号 住友精密工業(株)本社内
TEL. 06-6489-5861 FAX. 06-6489-5905

第30回政策委員会の開催

第30回政策委員会を3月29日(金)16:00~17:00まで工業会会議室で開催しました。定刻に事務局より開会を宣し、石川会長の議事進行により会議が進行しました。事務局は配布資料で平成30年度事業報告書(案)について以下のような概要説明を行いました。

戦後最長73カ月続いた「いざなぎ景気」を抜いたとみられる平成30年度でしたが、受注が旺盛でフル生産状況であった年度当初の勢いは、米中での輸入関税賦課等による貿易の不確定さからの影響等もあり、秋口から一部受注に陰りが出て来ているなどの声も出てきました。実際、内閣府が3月7日に発表

した1月の景気動向指数は、3か月連続のマイナスとなり基調判断も「足踏みを示している」から「下方への局面変化を示している」とされました。更に、同3月20日に発表された月例経済報告でも、「景気は、このところ輸出や生産の一部に弱さもみられるが、緩やかに回復している。」とされ、景気の減速懸念が表れてきております。

海外の状況を見ますと、依然として英国のEU離脱問題は解決しておりませんし、東アジアやアラブ地域などの地政学的問題もくすぶり、更に、中国の成長鈍化に加え、これまで活況であった米国でも、この3月22日には、ほぼ11年半ぶりにニューヨーク

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第30回政策委員会開催	1	技術調査事業	5
委員会開催・活動状況		広報・PR事業	5
需要対策事業	2	会員ニュース	6
国際交流事業	3	工業会ニュース	6
標準化事業/規格事業	3	今後の主要行事予定	6
		統計資料	10

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL : <http://www.jfpa.biz/>

債券市場で長期金利と3カ月物の短期金利が逆転するなど景況感指数の悪化を受け、世界景気の先行きへの警戒感が強まってきており、今後の景気状況に注視していくこと必要といえます。

このような景況の中、私ども業界の平成30年出荷動向は、油圧機器は、396,318百万円(対前年比15%増)、空気圧機器は、486,181百万円(対前年比2.7%増)となり、合計882,499百万円(対前年比7.9%)となったこと等を説明しました。議長は本件を議場に諮り、異議なく承認され、4月19日開催予定の第86回理事会に上程することが決まりました。

また、委員会終了後、経済産業省産業機械課玉井課長、工藤補佐、渡辺係長に同席していただき、政策委員メンバーと意見交換を含めた懇親会を行いました。

第11回技術講演会の開催

平成30年度の第2回目となる第11回技術講演会を3月18日(月)15:00~17:00機械振興会館 研修2号室にて開催いたしました。

今回は、講師に川崎重工業株式会社 ロボットビジネスセンター 営業企画部部長 真田知典様をお招きして下図に示す演題で講演していただきました。



第11回技術講演会演題

冒頭、川崎重工業の紹介を兼ね、IHI、三菱を含めた3重工の生い立ちと特徴、明治以降の日本の産業についての概説があり、配布資料の8項目の主題に沿って説明がなされました。

- 1) 「ロボットについて」では、ロボットの誕生と歴史、多様化したロボット市場、国ごとの捉え方の相違、融合技術としてのロボット工学
- 2) 「ロボット及びロボットシステムにおけるフルードパワーの活用」では、ロボット周辺に使用さ

れるエア機器

- 3) 「産業ロボットの市場」では、市場としての中国の急拡大のグラフ(2011~17年実績と2021年までの予想)、2017年の販売実績は日本のメーカーが世界の56%、続いて欧州の29%、両地域で8割
- 4) 「少子高齢化(労働力不足)問題について」では、協働ロボット市場の出現、人と共存を可能にする“双腕スカラロボット”の特徴と様々な利活用例
- 5) 「技能継承、事業継承問題」ではAIを活用したロボットシステム
- 6) 「世界規模で見た設備投資のトレンド」では市場規模と年間販売台数予想、始まったロボット派遣
- 7) 「ロボット・IoTを活用した将来の工場経営」
- 8) 「将来に備えた技術開発」では、ヒューマノイドロボットの開発「Hydro Servo Muscle」等々について、動画を取り混ぜた非常にわかりやすい説明でした。



講演中の真田講師

その後、17時までの時間いっぱい質疑応答が行われました。引き続き名刺交換会でも、真田講師がのどを潤す間もないほどはっきりなしの質問に、動画を紹介しながら懇切丁寧に対応していただきました。(技術調査事業)

委員会開催・活動状況報告

(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~  
需要対策事業  
~~~~~

総需要部会

日 時 3月27日(水) 15:00～17:00

場 所 機械振興会館 B2-2 会議室

出席者 中間委員以下 11 名

事務局 唯根

議 事

事務局の司会で会議を進行した。部会長が所要のため欠席したので初めに中間委員から 2019 年・年度の各種経済機関が予測した経済予測をベースにした経済動向とそれに基づく当業界のマクロ予測について詳細な説明を受けた。その後、油圧分科会と空気圧分科会に分かれ 2019 年・年度の見通しについて需要部門ごとの積み上げ予測について担当別に検討・審議した。その後、両分科会及び委員会の委員によるメールでの意見交換を行い、各委員間で調整し予測(案)を決めることとなった。

総需要部会油圧分科会

日 時 3月27日(水) 16:00～17:00

場 所 機械振興会館 B2-2 会議室

出席者 木元主査以下 4 名

事務局 藤原

議 事

事務局の司会で 2019 年・年度の需要動向について各委員から担当業種ごとに積み上げ予測値についての詳細な説明があり、各委員との意見交換を行った。この結果、提出された今回の積み上げ予測値から、建機及び輸出については大幅な上方修正を行った。その後、事務局で整理して 2019 年・年度の見通し(案)を作成し、各委員宛に送付することとした。また、今後の委員間の連絡はメールで行うこととし、会議にて調整した予測(案)を正とすることとした。

総需要部会空気圧分科会

日 時 3月27日(水) 16:00～17:00

場 所 機械振興会館 B2-2 会議室

出席者 高下主査以下 5 名

事務局 唯根

議 事

高下主査の司会で 2019 年・年度の需要動向について各委員から担当業種ごとに積み上げ予測値についての詳細な説明があり、各委員との意見交換を行った。この結果、一部の母機業界向けで積み上げ見通しがマクロとの乖離が高いとの指摘があり、検討の結果、担当委員に再調整をお願いした。一部修正を行う部門もあるため大凡の予測(案)を決め、再調整の結果については、事務局宛にメールで回答願

たい旨お願いした。その後、事務局で整理して 2019 年・年度(案)を作成し、各位委員宛に送付することとした。なお、マクロとの乖離が大きいものについては、マクロ寄りに再調整をお願いした。

~~~~~

#### 国際交流事業

~~~~~

ハノーバーメッセ視察団説明会・結団式

日 時 3月6日(水) 14:30～17:00

場 所 機械振興会館 62-2 会議室

出席者 南団長以下 14 名

事務局 唯根、堀江

議 事

事務局の司会で団員の自己紹介に続いて視察団の旅行企画をしたベストワールド(株)による日程の紹介及び注意事項等について説明があった。その後、事務局から訪問先であるハノーバーメッセ 2019 見本市、(株)アマダ、豊田自動織機(株)の両フランス工場の概要説明と帰国後の報告会・報告書作成の分担等について打合せした。最後に、バルカー・南団長の乾杯挨拶を始めに団員同士の名刺交換等を行い懇親を深めた。

報告会は 5 月 16 日(木)東京プリンスホテルの予定。



説明会・結団式風景

~~~~~

#### 標準化事業/ISO 対策事業

~~~~~

* ISO の動き

投票に付されている ISO 規格案 (FDIS, DIS)
(TC131)

ISO/DIS 19879, Metallic tube connections for fluid power and general use — Test methods for hydraulic fluid power connections (TC118)

ISO/DIS 28927-13, Hand-held portable power tools — Test methods for evaluation of vibration emission — Part 13: Fastener driving tools

~~~~~  
標準化事業／規格事業  
~~~~~

空気圧調質機器分科会

日 時 3月1日(金) 13:00~16:00

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 國崎主査以下 6 名

事務局 前畑

議 事

まず、前回の議事録について確認し、特に問題なく承認された。

次いで、サイレンサ規格 ANNEX (normative) に関して審議した。ドイツ要望を盛り込んだ日本案を最終確認し、5月開催の ISO パリ国際会議の審議資料として幹事国に送付することとした。

次に、JIS B 8372-2 (空気圧-空気圧用減圧弁及びフィルタ付減圧弁-第2部:供給者の文書に表示する主要特性の試験方法) 改正について、前回に引き続き、対応国際規格 ISO 6953-2 との対比しながら修正作業を行った。

最後に、H30 年度活動実績と 2019 年度活動計画について討議した。来年度の新規テーマとして、JIS B 8371-1 の改正を取り上げることとした。

次回開催: 4月25日(木) 機械振興会館

油空圧シリンダ分科会

日 時 3月8日(金)、13:00~16:00

場 所 機械振興会館 B3-9 会議室

出席者 渡部主査以下 7 名

事務局 前畑

議 事

委員の交代があり、谷口委員 (SMC) から根本委員に交代された。

まず、前回の議事録について確認し、特に問題なく承認された。

次いで、JIS B 8366-3 及び JIS B 8366-4 の改正について、日本規格協会から経済産業省に提出された申出原案の最終確認を行った。

次いで、H30 年度活動実績と 2019 年度活動計画について討議した。来年度の新規テーマとして、JIS B 8366-2 の改正を検討することとした。

最後に、現在改正が進んでいる ISO/DIS 10100 に関して、オプション盛り込まれているフリクション試験について討議した。本件について防衛大学・西海教授に見解を求めており、西海教授の意見も踏まえ、協議した結果、試験方法が適切か否かの検証が困難なことから JIS への適用は保留すると共に ISO での審議に関しても反対していくこととした。

次回開催: 9月6日(金)、機械振興会館

空気圧バルブ分科会

日 時 3月13日(水) 13:00~16:00

場 所 機械振興会館 6-60 会議室

出席者 大島主査以下 5 名

事務局 前畑

議 事

まず、前回の議事録について確認し、特に問題なく承認された。

次いで、JIS B 8672-2 (空気圧-試験による機器の信頼性評価-第2部:方向制御弁) に関して、各委員の担当部分について、対応国際規格 (ISO 19973-2) と対比しながら修正内容を審議した。

最後に、H30 年度活動実績と 2019 年度活動計画について討議した。来年度も継続して、JIS B 8672-2 の改正を取り上げることとした。

次回開催: 5月29日(水) 機械振興会館

油空圧シール分科会

日 時 3月19日(火) 13:30~16:30

場 所 機械振興会館 6-64 会議室

出席者 南主査以下 14 名

事務局 前畑

議 事

委員の交代があり、井元委員 (KYB) から伊藤委員に交代された。

まず、前回の議事録について確認し、特に問題なく承認された。

次いで、ISO 投票案件として ISO 3601-1:2012/DAM 1:2018 の FDIS 移行について審議した。特に問題がなく、賛成にて投票することとした。また、今年10月に開催予定の ISO ミラノ国際会議のスケジュールについて情報共有した。

次いで、JFPS 1003 (油圧シリンダ用パッキンの使用・選定指針) の改正について審議した。技術的内容は今回でほぼ完成したため、次回から解説の作成

に着手することとした。

次いで、JIS B 2401-4 が準拠している ISO 3601-4 に関して、JIS 化の際の日本実情に合わせた部分を ISO に提案する際の提案の仕方について討議した。アンケートにより各社の意見を収集することとした。

次いで、ISO 規格審議で話題になっている Rmr [Rz] について、前回に引き続き意見交換した。今後 Rmr [Rz] を採用していくか否かを判断するために、計測データ蓄積する方策をシールメーカーで検討していくこととした。

最後に、H30 年度活動実績と 2019 年度活動計画について討議した。来年度も継続して、JFPS 1003 の改正、ISO 3601-4 に関する提案、Rmr [Rz] の検討等を取り上げることとした。

次回開催：6 月 25 日(火) 機会振興会館

空気圧流量測定分科会

日 時 3 月 22 日(金) 13:00~16:00

場 所 機械振興会館 6-64 会議室

出席者 妹尾主査以下 10 名

事務局 前畑

議 事

委員の交代があり、進藤委員(クロダニューマテイクス)から石毛委員に交代された。

まず、前回の議事録について確認し、特に問題なく承認された。

次いで、ISO 投票案件について審議した。まず、ISO 6358-1:2013/DAmD 1 について、日本提案の規格のため、賛成で投票することとした。また、ISO/DIS 6358-2 は修正必要箇所があるため、非承認にて投票することとした。

次いで、本年 5 月に開催される ISO パリ会議について、関連する WG 会議のアジェンダが発行されたため、内容の確認を行い、関連アイテムの対応について討議した。

次いで、JIS B8390-2 (流量特性試験—代替試験)の発行後の誤記修正について討議した。修正箇所を一覧表にまとめた内容を確認し、規格協会に提出することとした。

次いで、JIS B8372-3 (空気圧—空気圧用減圧弁及びフィルタ付減圧弁—第 3 部：減圧弁の流量特性の代替試験方法)の改正について審議した。前回に引き続き ISO 6953-3 原文と比較しながら原案修正作業を実施した。

最後に、H30 年度活動実績と 2019 年度活動計画について討議した。来年度は JIS B 8372-3 改正の継続、及び JIS B8390-3 の制定等を取り上げることとした。

次回開催：6 月 14 日(金) 機械振興会館

発行された JIS

JIS B9938 油圧—難燃性作動油—使用指針

~~~~~

#### 技術調査事業

~~~~~

技術委員会空気圧部会第 557 回特許分科会

日 時 3 月 22 日(金) 13:00 ~ 17:00

場 所 機械振興会館 6-61 会議室

出席者 今野幹事以下 2 名

事務局 吉田

議 事

前回議事録及び配付資料の確認を行った。公報の検討と無効理由調査について、ウォッチング対象案件について確認をし引き続きウォッチングを続けることとした。調査 4 件については引き続き調査を行うこととした。新規案件が提出され、調査を開始することとした。2019 年度予算及び会議の開催予定(案)について意見調整を行った。平成 30 年度の活動内容をまとめた。年度末の幹事及び無効理由調査案件の幹事の担当について確認した。

次回開催：4 月 19 日(金) 機振会館 B3-9 会議室

~~~~~

#### 広報・PR 事業

~~~~~

第 124 回編集委員会 WG

日 時 3 月 12 日(火) 15:00 ~ 17:00

場 所 機振会館 6-63 会議室

出席者 宮主査以下 11 名

事務局 大橋

議 事

1. VOL. 33, NO. 2 (春号) 進捗

日本留学者の声が久しぶりに復活し、FP の挑戦身近な FP も含め目次分類のすべてが揃った。原稿はすべて入稿済みで現在校正の段階。編集作業はほぼ予定通り進捗。一方、前付広告が予定より少ない。

2. VOL. 33 及び VOL. 34 年間企画状況

VOL. 33 の夏号はほぼ充足、技術講座とミニ知識が終了となるので秋号のテーマと執筆者を早期に決める必要がある。ミニ知識は継手に続く候補としてのホースのほか、解説記事からの転換も検討に加える。

秋号は概して予定記事数が少ないため、来年新年

号予定のIoT特集を前倒しして特集として間を開けないようにする。東京計器以外にダイキン工業など編集委員所属の企業以外にも依頼する予定。

VOL. 34 (2020年) はほぼ空白のため、記事提案を募ることとし、ルポルタージュ、海外の窓、次世代FPの輪番予定を再確認した。

3. 記事提案

記事提案は今回17件ほどあり、うち何点かをVOL. 33 夏号・秋号に掲載を予定し寄稿依頼することとした。

4. 編集委員会規程作成について

事務局から編集委員会規程の条項案が提示されたが、当面は原稿確認の手順書を優先し、著作物の引用に係る事項を明記することとした。

これに伴い、以後、編集委員に原稿確認作業を依頼する。対象記事は目次分類を限定し、かつ事務局が初期確認時に必要性を判断する

5. 第96回編集委員会の報告

宮主査作成の骨子案の説明を受け審議した。

6. その他

機関紙送付先拡大は、今回は実施していない。

今回委員の交代があり、甲南電機・神戸委員及びSMC・永井委員が新委員に引き継がれる。

次回開催：第125回WG 6月上～中旬で調整。

~~~~~ 会員ニュース ~~~~~

☆代表取締役の交代

(正会員)

(株)不二越から代表取締役の交代の連絡がありましたのでお知らせします。

株式会社不二越

(新任)

代表取締役社長 坂本 淳

(退任)

特別顧問 薄田 賢二

☆社名変更

(賛助会員)

藤倉ゴム工業(株)から社名変更の連絡がありましたのでお知らせします。

平成31年4月1日付

新社名 : 藤倉コンポジット(株)

旧社名 : 藤倉ゴム工業(株)

☆訃報

堀内機械(株)の取締役会長堀内昭正殿、病氣療養中のところ平成31年1月29日、享年75歳にて召天されました。謹んでお悔やみ申し上げます。3月22日「スイスホテル南海大阪」にてお別れ会がとり行われました。

当会会長でありました元黒田精工(株)社長古川卓殿、病氣療養中のところ平成31年3月16日、享年85歳にて召天されました。謹んでお悔やみ申し上げます。3月23日「ホール多摩国立」にてお別れ会がとり行われました。

~~~~~ 工業会ニュース ~~~~~

☆賛助会員入会

平成31年3月18日付にて、下記企業が賛助会員として入会されました。

会社名：日本伸銅株式会社

代表者：代表取締役社長 原田 孝之 殿

本社：〒590-0908

大阪府堺市堺区匠町20番地1

TEL：072-229-0346

FAX：072-229-2174

URL：www.nippon-shindo.co.jp

創立：1938年4月

資本金：1,595百万円

主な製品：特殊高力黄銅棒“ヒーローブロンズ”

☆賛助会員退会

平成31年3月6日付けにて、サンテスト株式会社殿が退会されました。

~~~~~ 今後の主要行事予定 ~~~~~

*2019年

☆4月19日(金)第86回理事会及び懇親会

(時間) 15:30~16:50

(場所) ザ・プリンスさくらタワー

高輪

2F「コンファレンスフロア」

☆5月16日(木)2019年度(第20回)定時総会

(時 間) 15:30～16:50
(場 所) 東京プリンスホテル芝公園
サンフラワーホール
同懇親会場

(時 間) 17:00～18:30
(場 所) 東京プリンスホテル
マグノリアホール

☆5月17日(金)第58回JFPA懇親ゴルフ会
(場 所) 程ヶ谷ゴルフ倶楽部

~~~~~  
3月に開催された当会各委員会に出席された皆様は  
以下の通りです。(敬称略)  
~~~~~

第30回政策委員会

開催日 3月29日(金)

出席者

会 長 石川 孝(TAIYO)

副会長 中島 康輔(KYB)

〃 宮内 壽一(甲南電機)

〃 十万 幹雄(神威産業)

専務理事 藤原 達也(JFPA)

監 事 松井 正彦(マツイ)

〃 古川 清二(税理士法人ピラント)

(需要対策事業)

総需要委員会

開催日 3月27日(水)

出席者

委 員 中間正道(中間行政法務事務所)

油圧機器分科会

開催日 3月27日(水)

出席者

主 査 木元隆之(KYB)

委 員 佐々木毅(イートン)

〃 中島一成(TAIYO)

〃 上田真也(ナブテスコ)

〃 小林幸雄(ボッシュ・レックスロス)

空気圧機器分科会

開催日 3月27日(水)

出席者

主 査 高下 修(SMC)

委 員 小西正幸(クロダニューマティクス)

〃 大朝栄一(甲南電機)

〃 垣本幸伸(コガネイ)

〃 山田賢一(CKD)

〃 三宮光博(TAIYO)

(国際交流事業)

ハノーバーメッセ視察団説明会・結団式

開催日 3月6日(水)

出席者

団 長 南 暢(バルカー)

副団長 仙田 雅晃(廣瀬バルブ工業)

団 員 花岡 宣明(廣瀬バルブ工業)

〃 森脇 渉(日本アキュムレータ)

〃 池ヶ谷勇登(日本アキュムレータ)

〃 和田 章裕(日東工器)

〃 稲子 徹哉(日東工器)

〃 三尾 里沙(三尾製作所)

〃 植田 強(大久保歯車工業)

〃 小花 歩夢(フジサンケイビジネスアイ)

〃 成田 晋(日本フルドパワーステム学会)

旅行社 野本 祐史(ベストワールド)

(標準化事業/規格事業)

空気圧調質機器分科会

開催日 3月1日(金)

出席者

主 査 國崎雄嗣(CKD)

委 員 三村岳(SMC)

〃 出澤大(クロダニューマティクス)

〃 土岐真人(コガネイ)

〃 阪上隆之(甲南電機)

〃 高橋隆通(甲南電機)

油空圧シリンダ分科会

開催日 3月8日(金)

出席者

主 査 渡部文雄(日本シリンダ共同事業)

委 員 吉田泰裕(CKD)

〃 谷口長(SMC)

〃 根本慎一郎(SMC)

〃 東川智信(TAIYO)

〃 塩田浩司(コガネイ)

〃 赤松直人(甲南電機)

空気圧バルブ分科会

開催日 3月13日(水)

出席者

主 査 大島雅之 (SMC)
委 員 夏目清辰 (CKD)
〃 田路渡 (甲南電機)
〃 八手又秀浩 (日本ピスコ)
〃 鈴木一成 (妙徳)

第 557 回特許分科会
開催日 3月22日 (金)
出席者
幹 事 今野英俊 (コガネイ)
委 員 井野雅康 (SMC)

油空圧シール分科会

開催日 3月19日 (火)
出席者
主 査 南暢 (バルカー)
委 員 北川泰章 (CKD)
〃 高牟礼辰雄 (JFPA)
〃 伊藤清明 (KYB)
〃 宮本博夫 (NOK)
〃 中尾雅司 (NOK)
〃 寺島剛資 (エア・ウォーター・マツハ)
〃 曾谷崇 (甲南電機)
〃 但木郁夫 (荒井製作所)
〃 太田正貴 (阪上製作所)
〃 假屋隆広 (三菱電線工業)
〃 相場宣慶 (東京計器)
〃 辻田智 (日東工器)
〃 北村剛 (油研工業)

(編集委員会)
第 124 回編集委員会 WG
開催日 3月12日 (火)
出席者
主 査 宮 能治 (KYB)
副委員長 水野純一 (CKD)
委 員 浦井隆宏 (ボッシュ・レックスロス)
〃 松島嘉則 (阪上製作所)
〃 神戸孝典 (甲南電機)
〃 中垣智英 (甲南電機)
〃 豊田敏久 (川崎重工業)
〃 永井茂和 (SMC)
〃 東川智信 (TAIYO)
〃 松島嘉則 (阪上製作所)
〃 諸橋 博 (東京計器)

空気圧流量測定分科会

開催日 3月22日 (金)
出席者
主 査 妹尾満 (SMC)
委 員 大竹崇 (CKD)
〃 小関亨 (TAIYO)
〃 佐々木政彰 (アズビル TACO)
〃 石毛桂 (クロダニューマティクス)
〃 斉藤悠 (コガネイ)
〃 浅里信之 (ニッタ)
〃 八手又秀浩 (日本ピスコ)
〃 香川利春 (東京工業大学)
〃 眞田一志 (横浜国立大学大学院)

(振興対策事業)
産機・建機部会
日 時 3月6日 (水)
出席者
部会長 寺田 稔 (ダイキン工業)
委 員 木元隆之 (KYB)
〃 関口秀樹 (KYB)
〃 松井基幸 (島津製作所)
〃 上田真也 (ナブテスコ)
〃 森山進治 (ボッシュ・レックスロス)
〃 堀 讓二 (油研工業)

~~~~~  
**月間行事概要**  
~~~~~

(技術調査事業)

技術委員会技術講演会 (第 11 回)
日 時 3月18日 (月) 15:00~17:00
場 所 機械振興会館 研修 2 号室
出席者 66 名
(講師、事務局を除く聴講者)
事務局 藤原、前畑、大橋

技術委員会空気圧部会

<3月>
1日 (金)
・標準化 (委) 空気圧調質機器分科会
6日 (水)
・振興対策 建機・産機部会
6日 (水)
・ハノーバーメッセ視察団説明会・結団式
8日 (金)

- ・標準化（委）油空圧シリンダ分科会
- 12日（火）
- ・編集（委）第124回編集委員会WG
- 13日（水）
- ・標準化（委）空気圧バルブ分科会
- 18日（月）
- ・第11回技術講演会
- 19日（火）
- ・標準化（委）油空圧シール分科会
- 22日（金）
- ・標準化（委）空気圧流量測定分科会
- 27日（水）
- ・振興対策 総需要委員会
- 29日（金）
- ・第30回政策委員会

☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁HPでも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>
